

2013 年度（平成 25 年度）

重点政策



頼龍馬



～チャレンジふくやま 新たなる創造と飛躍～

健康ふくやま 21
イメージキャラクター
ふくっぴー



福山市環境イメージ
キャラクター
くわいちゃん



地産地消のアイドル
チッチ



ばらのまち福山
イメージキャラクター
ローラ



福山うずみごはんイメージキャラクター
うずみちゃん

福山市



福山市食育推進計画イメージキャラクター
元気な福の山ファミリー

福山市は 2016 年(平成 28 年)7月1日に 市制施行 100 周年を迎えます

はじめに

本市を取り巻く環境は、国の経済情勢や少子化・高齢化の進行などを背景に依然として厳しい状況が続いています。今後、人口減少といったこれまで経験したことのない状況に直面することが予想される中、本市が将来にわたって発展し続けるためには、時代の変化に柔軟に対応できる行政運営や市民が主役のまちづくりをより一層進めていく必要があります。これまでも、「協働のまちづくり」を市政運営の柱に位置付け、その時々々の社会情勢や多様化する市民ニーズに対応しながら、温暖化対策事業やばらのまちづくり、土曜チャレンジ教室などに取り組み、一定の成果をあげています。

新年度の重点政策では、新たに『チャレンジ！ 100周年』として、「100万本のばらのまちづくりの推進」を始め、「環境と健康」をテーマとした施策や「21世紀の人材育成」など全市を挙げて取り組む5つの施策を位置付け、新たな仕組みづくりとそれを担う人づくりや、本市の強みを活かした成長力を促す施策に力を入れて取り組むこととしています。

本市の将来都市像である「にぎわい しあわせ あふれる躍動都市～ばらのまち 福山～」の実現に向け、ここに掲げる重点政策を中心に着実に取り組み、市民の皆様が豊かさを実感でき「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりを力強く進めていきます。

<重点政策について>

重点政策は、新年度における主要な新規事業や拡充する事業等を基本に計上するものです。個別の事業期間や重点化を行う期間が終了した事業、重点政策として集中的に取り組んだ結果、一定の成果が挙がり、本市の施策として定着したものなどについては、重点政策から外れることとなります。したがって、重点政策の予算額は年度によって増減が生じます。

2013年度（平成25年度）では、26施策、約39億円を重点政策として取り組んでいくこととしています。前年度と比較すると、8施策の減、約76億円の減となりました。

2013年度（平成25年度）重点政策一覧（目次）

（単位：千円）

分野	柱立て	施策名	事業費	内訳			ページ
				当初予算額	前年度からの繰越予算（緊急経済対策）	再掲分	
新チャレンジ！100周年		100万本のばらのまちづくりの推進	138,924	138,924			3
		福山駅周辺を中心市街地の魅力の創出	134,280	13,700		120,580	4
		里山里地の再生・保全	39,722	39,722			5
		新環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案	226,910	96,720	42,000	88,190	6
		新21世紀を担う人材育成	1,473,255			1,473,255	9
		新“持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワーク	6,845			6,845	10
小計		5件		289,066	42,000		
1 教育	学校教育の充実	小中一貫教育の推進	13,532	13,532			13
		地域学習活動の支援（土曜チャレンジ教室）	3,423	3,423			14
	文化財の保護と活用	鞆地区町並み保存	34,143	34,143			15
小計		3件		51,098			
2 環境	地球環境の保全	LED防犯灯の整備	44,000	44,000			16
小計		1件		44,000			
3 活力	鞆地区の再生・活性化	鞆地区まちづくりの推進	374,013	188,670		185,343	17
	都市ブランドの創出と発信	「福山らしさ」の創出	158,732	19,808		138,924	18
	市民の自立と参画	協働のまちづくりの推進	22,625	19,194		3,431	19
	効率的・効果的な行政運営の推進	公共施設サービスの再構築	15,000	15,000			20
	地域の活性化	産学官連携の推進	3,369	3,369			21
		新スマートIC（インターチェンジ）の整備	30,000	30,000			22
小計		6件		276,041			

(単位：千円)

分野	柱立て	施策名	事業費	内訳			ページ
				当初予算額	前年度からの繰越予算(緊急経済対策)	再掲分	
4 福祉	障がい者・高齢者福祉の充実	障がい者・高齢者の相談支援体制の充実 (成年後見制度の利用支援など)	90,161	90,161			23
	社会参加に向けた自立支援	生活保護受給者の自立支援	14,815	14,815			24
	小計 2件			104,976			
5 安心・安全	地域医療体制の充実	病院施設の整備	771,000	771,000			25
		救急医療体制の確保	10,602	10,602			26
	消防・救急体制の充実	消防・救急体制の整備	1,394,554	507,566	886,988		27
	災害に強いまちづくり	水道施設の耐震化	365,014	365,014			28
		下水道施設の耐震化	250,000		250,000		29
		学校施設の耐震化	1,356,300	100,000	1,256,300		30
	安心・安全な給水の確保	出原浄水場の更新	1,189,189	1,189,189			31
	市民の安全対策	歩道・自転車走行空間の整備	380,000	172,000	108,000	100,000	32
		交通施設バリアフリー設備の整備	150,000		150,000		33
		L E D防犯灯の整備 (再掲)	44,000			44,000	33
小計 9件			3,115,371	2,651,288			
合計 26件			3,880,552	2,693,288			

6,573,840千円

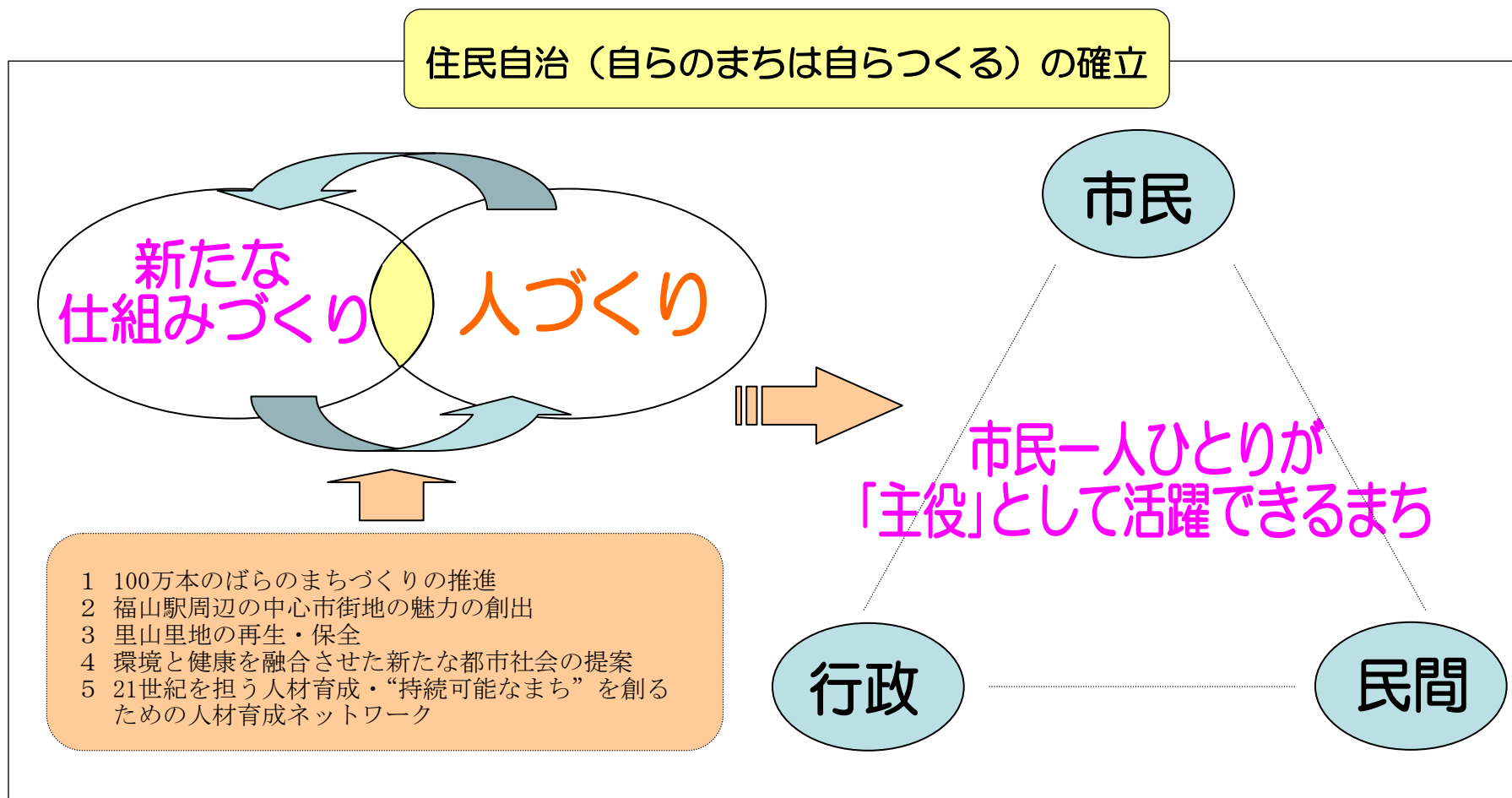
※緊急経済対策分を含む総事業費
(再掲分を除く)



チャレンジ! 100周年

○チャレンジ！ 100周年

2016年（平成28年）7月1日の市制施行100周年に向け、新たに『チャレンジ！ 100周年』として、全市を挙げて取り組む5つの施策を位置付けています。市民の皆様がまちづくりに参加することに、やりがいや喜びを感じることができるよう、「新たな仕組みづくり」を進めるとともに、それを支える「人づくり」にも取り組みます。これまでの「協働」の取組を更に深めることにより、市民一人ひとりがまちづくりの「主役」として活躍できる『福山』をめざします。



100万本のばらのまちづくりの推進

予算額 138,924千円

市民や各種団体、事業者、行政が連携し、「ばらが咲き誇るまち」をめざすとともに、「ばらのまち福山」を市内外にアピールし、『100万本のばらのまち』の実現に取り組みます。

○ばらの植栽サポートプロジェクト（796千円）

- ・福山ばら大学（第四期）（ばら栽培のリーダーを養成）
- ・地域ばら花壇の維持管理への支援（ばら栽培用肥料の配布）
- ・学校ばら花壇など公共施設の花壇への植栽・維持管理



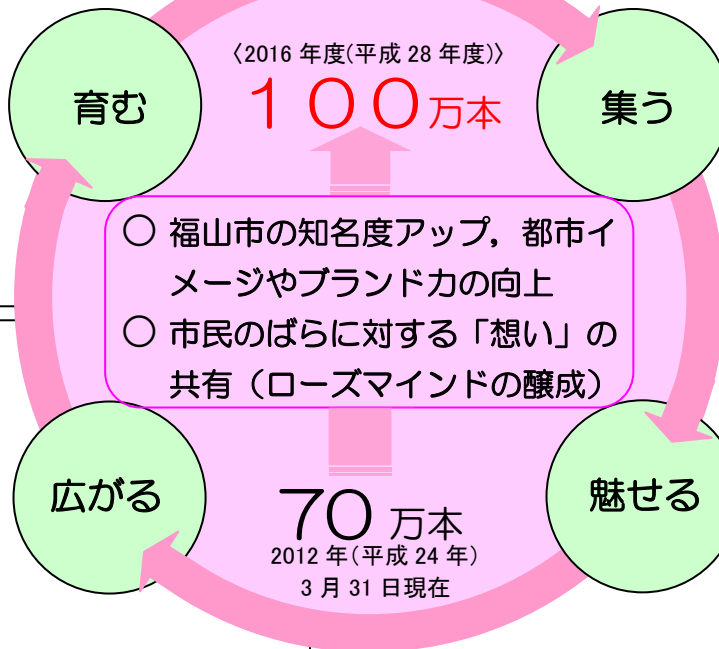
【福山ばら大学】

○新たな名所、拠点となる場所の創出プロジェクト（125,074千円）

- ・ばらのまち福山のシンボルとなる拠点の整備（◎ばら公園の整備など）
- ・ローズロードの整備
福山駅からばら公園までのルートの整備
- ◎ローズロード周辺の「ばらの魅力発信スポット」整備（市民からのアイデア募集）



【ばら公園】



【入学記念ばら苗配布】

○全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト（6,222千円）

- ・ばら花壇オーナー制度などの促進（国道2号や主要幹線道路）
- ・小学校新一年生へ「ミニばら苗」をプレゼント
- ・新築住宅購入者などへばら苗を配布



【「ばらのまち福山ホームページ」のイメージ】

○花だけじゃない!!ばらのアピールプロジェクト（6,832千円）

- ・「ばらのまち福山ホームページ」のリニューアル（市内外へ発信）
- ・◎食用ばらの栽培・活用
- ・ばらのイメージキャラクター「ローラ」によるPR

福山駅周辺の中心市街地の魅力の創出

予算額 134,280千円
(うち、再掲分 120,580千円)

備後都市圏の玄関口にふさわしい賑わいのある交流拠点の形成や、中心市街地の新たな魅力づくりと賑わい創出に向け、文化ゾーンと商業地区の回遊性向上のほか、市民、NPO、商業者などが相互に連携した活動の中心を担う推進母体の構築などに取り組みます。

○「行きたい」魅力づくり (125,451千円)

- ・四季を感じる中心市街地の魅力創出
(春：ばら祭、夏：夏まつり、秋：アート・ウォーク、冬：ルクシアタ)、
※秋のイベントの拡充、魅せる街路樹の取組
- ・100万本のばらのまちづくり (※再掲)
(㊦ばら公園等の整備、ローズロードの整備)



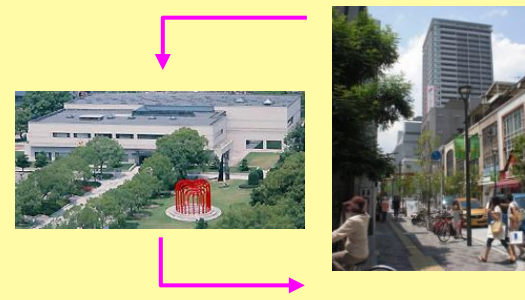
【ばら祭(ばら公園)】



【福山城】

○「買いたい」魅力づくり (829千円)

- ・**㊦**文化ゾーンと商業地区の連携強化(協賛店の公募による文化ゾーンと商店の相互宣伝)
- ・大学連携による取組(※再掲)(**㊦**学生による空き店舗の利活用、福山駅北側と南側の回遊性に係る研究)



【文化ゾーンと商業地区との回遊のイメージ】

人が集う
中心市街地の
魅力の創出



【福山の未来づくりワークショップ】

○市民活動拠点の創出 (8,000千円)

- ・中心市街地賑わい創出活動支援事業
まちづくりを担う人材育成、**㊦**市民が主体となる事業の実施



【福山駅前広場】

○「住みたい」魅力づくり (—千円)

- ・歩いて楽しめるまちづくり
㊦福山市商業施設再生への取組

里山里地の再生・保全

予算額 39,722千円

農地・森林所有者などと市民、企業などが協働で里山里地の再生・保全に取り組み、余暇や教育に活用することで市民と里山里地の新たな関係を構築し、水と緑に満ちた農山村地域を次の世代へ引き継いでいきます。



予算額 226,910千円
 (うち、緊急経済対策分 42,000千円
 再掲分 88,190千円)

⑨ 環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案

プロジェクトⅠ
 いきいき環境・健康スローライフ
 プロジェクトⅡ
 環境にやさしく活力ある地域社会の構築



- 再生可能エネルギーの積極的な活用（太陽エネルギー、水力などの導入促進）
- ベスト運動の推進、エコ通勤の推進
- 自転車を利用しやすいまちづくり（自転車走行空間の整備など）
- 花と緑による癒しのある環境づくり（ばらのまちづくりなど）
- いくつになってもいきいきと暮らせる地域づくり（おでかけ支援など）



環境にやさしく活力のある地域社会の実現



《自然と共生し地球にやさしい、だれもが健康でいきいきと暮らせるまちづくり》
 ～自然の恵みや人の繋がりが感じられる暮らしの実践～

◇健康や自然環境に配慮した暮らしの実現

- ・美しい景観と癒される環境づくり（きれいな大気・きれいな水・たくさんの花と緑）
- ・生活習慣の見直し（運動・食生活・癒し）

◇生活の質を高め、人も地域も元気になる（地域コミュニティの再生）

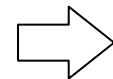
- ・地域資源の再発見・ブラッシュアップによる地域活性化（商品化・事業化）
- ・趣味や余暇活動を大切にすることによる生活の質の向上
- ・環境観光などによる交流人口の増加

⇒健康寿命※の延伸や二酸化炭素排出量の削減にもつなげていく

※健康寿命…平均寿命のうち健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

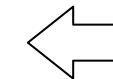
- 地産地消の推進（給食への地場産農産物の使用拡大など）
- 食育の推進（「食育の日」（毎月 19日）の活用など）
- 農商工連携の推進（スイーツの活用・介護食への展開）
- 地域での健康づくり（ウォーキングの推進など）

健康づくりと食育の推進



- 河川の浄化（浄化槽の設置促進）
- 里山里地の再生・保全（耕作放棄地対策など）
- 地域特性を活かした余暇活動の充実

豊かな農山漁村



地域固有の物語の発掘

- 環境観光の推進（総合特区の環境観光、次世代エネルギーパークの活用）
- ヘルスツーリズムの実施・癒しのあるまちづくり
- 食文化の伝承（食ブランドの推進・郷土料理（うずみなど）の伝承・保命酒の活用など）



環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案

プロジェクトI いきいき環境・健康スローライフ ～環境と人にやさしく、健康で暮らしやすいまちづくり～

地産地消や里山里地の再生・保全など「農」を通じた地域活動を推進し、高齢者の生きがいに作り取り組むとともに、グリーンツーリズムへの展開や地域資源を活用した新たな商品開発などにより、交流人口の増加や地域コミュニティの再生、新たなビジネスチャンスの創出に取り組みます。

※印：今後実施に向けて検討



プロジェクトⅡ 環境にやさしく活力ある地域社会の構築

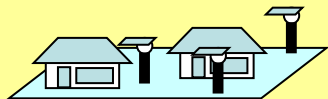
家庭・地域・企業などが一体となった温暖化対策や自然環境の保全に取り組むとともに、自転車利用など交通手段の変更を促すことにより、健康づくりも推進します。また、次世代エネルギーパークを活用した環境観光など新たな環境ビジネスにも取り組みます。

※印：今後実施に向けて検討

《家庭・地域》



- 太陽エネルギー導入
- 学校などでの環境教育の推進
- 緑のカーテン



- 温暖化防止活動支援
- LED防犯灯の整備
- 地域での環境教育の推進
- 環境学習パートナー登録、指導者育成など

《行政》

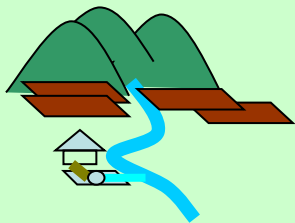
- ※市民共同発電所の推進
- 公共施設への再生可能エネルギーの導入
- 公共施設の屋根貸し(太陽光) ⇒新たな財源(収益)

《企業》

- 環境マネジメントシステム補助
- ビル緑化促進

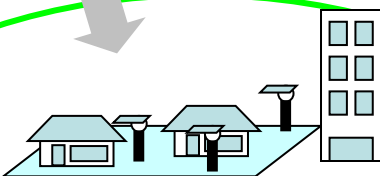


- 里山里地の再生・保全 (地域間交流の促進)
- 浄化槽の設置推進



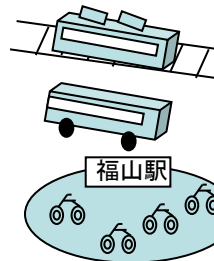
農山漁村地域

地域間交流の促進
生きがいづくり
自然環境の保全



エネルギーの地産地消
家庭や地域での温暖化対策

地域コミュニティの活性化
新たな環境ビジネスの創造
健康づくりの推進



交通手段の変更



- ベスト運動の推進
- レンタサイクルの充実
- ゾーンバスシステム

+

- ウォーキング習慣 (ウォーキングマップの活用)
- サイクリング習慣

○自転車利用の促進

- ・自転車走行空間の整備
- ・レンタサイクル社会実験
- ・交通ルール・マナーの徹底
- ・健康につながる自転車利用の啓発



- 次世代エネルギーパーク整備事業 (体験型学習施設などの拡充)

(関連事業)・総合特区制度を活用した環境観光の推進



環境観光の振興

新 21世紀を担う人材育成

予算額 1, 473, 255 千円
(うち、再掲分 1,473,255 千円)

本市の未来を担う人づくりを進めるため、学校・家庭・地域・行政が信頼と協働のもと、児童生徒の個性を尊重し、創造性と自立性を高める教育に取り組みます。

- 知** 【確かな学力】 ○ 小中一貫教育の推進 (13,532 千円) P13 参照
○ 中高一貫教育校 (福山中・高等学校) の充実
- 徳** 【豊かな心】 ○ キャリア教育の推進
- 体** 【健やかな体】 ○ 体力向上の推進

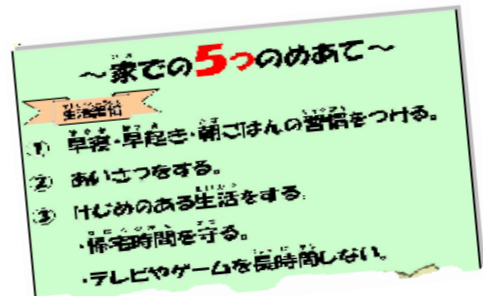
中学校教員による小学校への出前授業



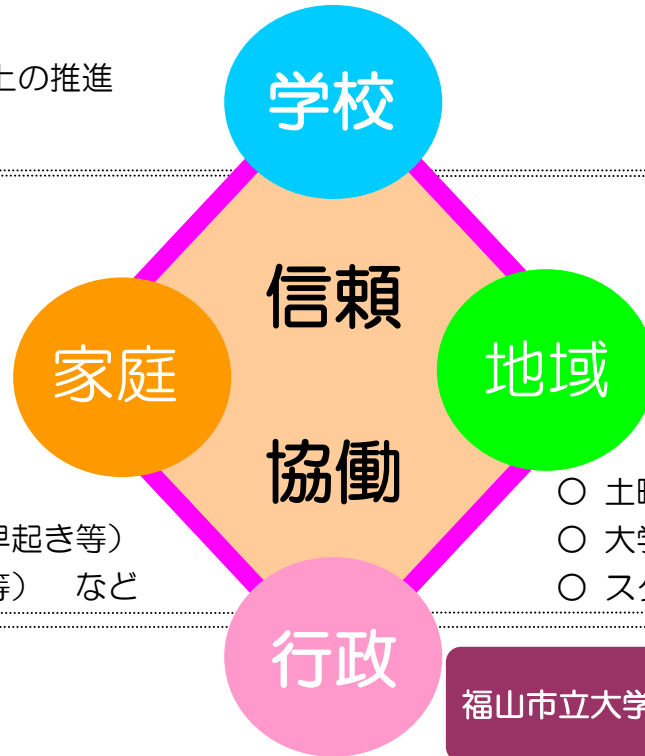
土曜チャレンジ教室



- 土曜チャレンジ教室 (3,423 千円) P14 参照
- 大学生の人材育成
- スクールサポートボランティア など



- 規則正しい生活習慣の確立 (早寝早起き等)
- 家庭での学習習慣 (次の日の準備等) など



通学路の安全確保



福山市立大学

- 小・中学校へのお出前授業
- 地域社会の発展に貢献する人材育成 など

- 教育環境の整備 (学校施設の耐震化※・通学路の安全対策) (1,456,300 千円)
- 社会教育活動の推進 (図書館の充実)
- 子ども市政参画 (子ども議会) など

P30, 32 参照

※学校施設の耐震化は一部緊急経済対策分で実施

新 “持続可能なまち” を創るための人材育成ネットワーク

予算額 6,845千円
(うち,再掲分 6,845千円)

市民がまちづくりに参画することで生きがいや喜びを感じることができるよう, 学びの機会を充実することにより “持続可能なまち” へとつながる人材育成ネットワークを構築します。



里山保全活動



自主防災活動

次のステージへ

協働のまちづくり

行動する

実践・日常化する
●活動の支援

考える

自分たちができることを考える
●情報の提供

気づく

何が必要なのか気づく
●課題意識の共有

学ぶ

まず, 学んでみる
●学習機会の提供



子育て支援活動



人材育成講座

基本施策	主な人材育成事業
災害に強いまちづくり	福山防災大学(地域の防災, 減災体制づくりを担う人材の育成)
自然と人が調和したまちづくり	福山環境大学(身近な環境問題に気づき, 家庭や地域で行動できる人材の育成)
こころの健康と地域福祉の充実	市民後見人養成研修(物事を判断する能力が十分でない方に寄り添い, 地域で共に生きていく取組のできる人材の育成)
子育て支援の充実	キラキラサポーター(子育て支援ボランティア)養成講座(行政と連携して孤立しがちな親をサポートできる人材の育成)
地域の教育力の強化	子どもサポーター養成講座(地域全体で子どもを育てる活動(ボランティア活動・交流事業など)ができる人材の育成)
学校教育の充実	特別支援教育支援員養成講座(特別支援教育への理解と使命感をもち, 愛情豊かに子どもに接することのできる人材の育成)
多文化共生のまちづくり	日本語支援ボランティア養成講座(外国人市民の現状を理解し, 支援者として活動できる人材の育成)
農地・森林の保全と活用	里山里地保全活用リーダー養成講座(農地・森林を保全活用できる人材の育成)
豊かで快適に暮らせるまちづくり	ふくやまの社会基盤づくり講座(社会基盤(道路・住宅)づくりの考え方や施策について, 身近なこととして捉えることのできる人材の育成)
市民参画によるまちづくり	まちづくりリーダー養成講座・まちづくりサポーター養成講座(地域でまちづくり活動に参画できる人材・リーダーシップが発揮できる人材の育成)
ばらのまちづくり	福山ばら大学(協働の視点でばらのまちづくりに取り組める人材の育成)
人権尊重の確立	ふくやま人権大学(人権尊重の意識を持ち, 住民学習会などでリーダーシップが発揮できる人材の育成)

分野別 重点政策



教育, 環境, 活力, 福祉, 安心・安全

各ページの見方

分野: 柱立て:



(予算額: 千円)

担当課:

(うち、**緊急経済対策分** 千円)

期間	年度(平成 年度) ~ 年度(平成 年度)	数値目標	
----	-----------------------	------	--

【目的(ねらい)】

○**新**マーク

2013年度(平成25年度)に初めて重点政策に計上される「新規」の施策です。従来から実施している施策であっても、重点政策として初めて計上される場合は「新規」となります。

また、これまでの継続事業に初めて取り組む事業を加え、内容を再編した施策についても「新規」となります。

【主な取組内容】について、新たに加わった事業には**新**としています。

【主な取組内容】

(1) **新**

○緊急経済対策分

2013年度(平成25年度)に予算計上を予定していたもののうち、国の緊急経済対策により2012年度(平成24年度)に前倒しして計上した予算額です。

(2)



小中一貫教育の推進（予算額：13,532千円）

期 間 2012年度（平成24年度）～2014年度（平成26年度）

【目的（ねらい）】

中学校区単位で小中学校の連携を更に深め、中1ギャップ[※]などの課題を解消し、子どもたちに確かな学力を身に付けさせるとともに、福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる力をはぐくみます。

※中1ギャップ・・・小学校から中学校への進学という環境の変化により生じる課題

【主な取組内容】

（1）小中一貫教育カリキュラムの作成・実施

2015年度（平成27年度）からの小中一貫教育全面実施に向け、引き続き、小中一貫教育カリキュラムの作成・実施に取り組みます。

〔対象〕全中学校区の小中学校（中学校35校（福山中を除く）、小学校78校）

（2）連携型小中一貫教育推進モデル中学校区の指定

モデル中学校区を指定（3中学校区、2年間）し、カリキュラム作成や中学校区の組織づくりに取り組み、その成果を他中学校区へ普及します。

（3）小中一貫教育推進懇話会の開催

小中一貫教育の推進方針や方策について検討します。

（4）小中一貫教育全体研修の実施

教員を対象に他市における先進事例の紹介などを行います。

“義務教育9年間を一体的に捉えた教育活動” の展開をめざす小中一貫教育の創造



【中学校教員が小学校で行う出前授業】



【小中教員共同の授業研究】



【小中学生共同のあいさつ運動】



【児童生徒が地域住民と一緒に
清掃活動】

分野： 教育 柱立て： 学校教育の充実

地域学習活動の支援(土曜チャレンジ教室) (予算額:3,423千円) 担当課：教育委員会学校教育部指導課

期 間	2011 年度 (平成 23 年度) ~	数 値 目 標	土曜チャレンジ教室の新規開設 10 会場
-----	----------------------	---------	----------------------

【目的 (ねらい)】

地域との協働により、児童生徒に学ぶことの楽しさや達成感を感じてもらい、学習意欲の向上につなげるとともに、自ら進んで学習する習慣が身につくように支援します。



【土曜チャレンジ教室の様子】

【主な取組内容】

○土曜チャレンジ教室の開設・運営

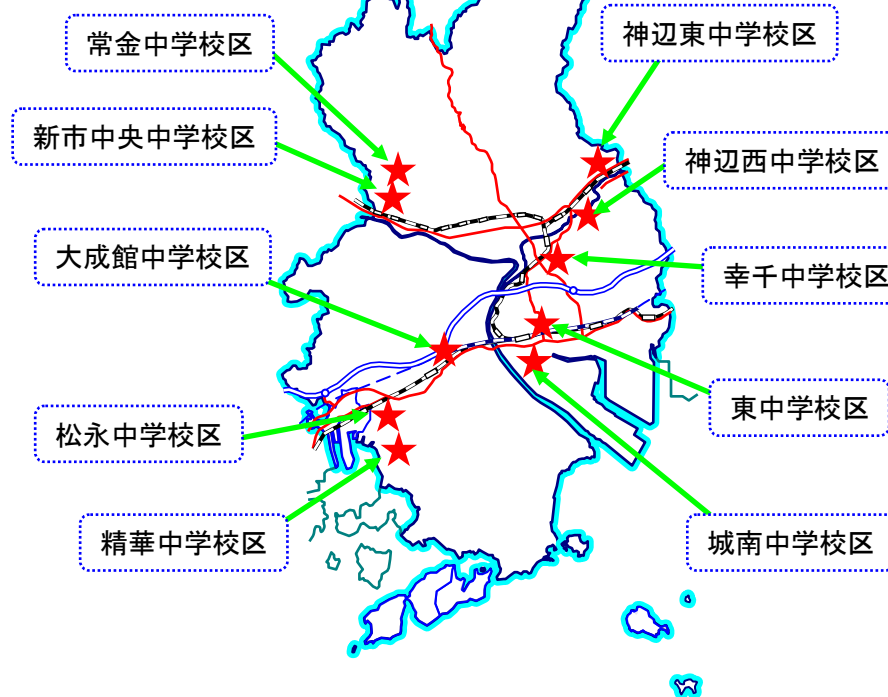
児童生徒が教科書などを持参して、地域のボランティア講師に教わりながら、復習を中心とした自学自習を行います。

- ・日時：第2・4土曜日 9:00~11:00
- ・場所：公民館などの公共施設
- ・対象：小学校5・6年生，中学校1年生
- ・内容：算数・数学，英語の基礎的な学習

〔開設状況〕

- ・2012年度(平成24年度)末現在 10会場

これまでに開設している中学校区



鞆地区町並み保存（予算額:34,143千円）

担当課：教育委員会文化スポーツ振興部文化課

期 間	2007年度（平成19年度）～	数 値 目 標	町並み保存事業補助件数 6件
-----	-----------------	---------	----------------

【目的（ねらい）】

古くから瀬戸内の要港として繁栄した港町・鞆には、江戸・明治期の伝統的建造物が数多く残っていますが、老朽化が著しく、早急な保存整備が必要な状況にあります。

鞆町伝統的建造物群保存地区において、建造物などの保存整備を重点的に推進し、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を目標に、歴史的町並み景観の保全に取り組みます。

【主な取組内容】

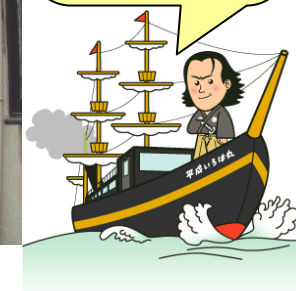
- ・ 伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物である町家や土蔵などの修理事業や伝統的建造物以外の建物を歴史的町並み景観に調和させる修景事業を実施します。
- ・ 重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け実施した補完調査をもとに、住民に分かりやすいパンフレットなどを作成し、町並み保存の啓発に取り組みます。



【鞆の町並み】

重要伝統的建造物群保存地区に選定されると

町家の修理などへの財政的支援が拡充され、町並み保存の取組の促進につながります



分野： 環境

柱立て： 地球環境の保全

LED防犯灯の整備（予算額:44,000千円）

担当課：建設局土木部土木管理課

期 間	2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度）	数 値 目 標	2013年度（平成25年度）末までに約32,000灯を交換
-----	-------------------------------	---------	-------------------------------

【目的（ねらい）】

地域の安心・安全のために自治会などが設置・維持管理している防犯灯をLED灯にすべて切り替え、発電の際に発生する温室効果ガス（二酸化炭素）の抑制と維持管理に係る経費を削減します。

【主な取組内容】

市内に設置している20W蛍光灯の防犯灯（約32,000灯）を2013年度（平成25年度）末までに、すべてLED灯の防犯灯に切り替えます。



蛍光灯をLED灯に切り替えると

1灯あたり1年間で27.96kgのCO2排出量が削減されます。



【LED灯】

分野： 活力 柱立て： 鞆地区の再生・活性化

鞆地区まちづくりの推進（予算額:374,013千円） （うち、再掲分 185,343千円）

担当課： 建設局都市部都市計画課 企画総務局総務部総務課
経済環境局経済部観光課 教育委員会文化スポーツ振興部文化課
消防局総務部総務課 上下水道局工務部下水道建設課

期間 2005年度（平成17年度）～

【目的（ねらい）】

鞆地区の総合的なまちづくりの観点から、住民との協働により、歴史や文化と地域社会が調和し、安全で快適な生活環境と活力ある鞆地区の実現に向け取り組みます。

【主な取組内容】

（1）鞆地区まちづくり推進事業

鞆地区の再生・活性化に向け住民主体のまちづくりの考え方を、住民の意向を踏まえながら整理し、可能なものから早期実施に繋がります。

（2）**新**鞆地区公共施設整備

鞆支所などの再整備に向けた調査・設計を行います。

（3）下水道整備

快適で衛生的な生活環境を確保するため、汚水管渠（幹線・枝線）を整備します。

（4）市営渡船場待合所の改修

観光客が快適に利用できるよう、市営渡船場待合所（1階）を改修します。

（5）鞆地区町並み保存（※再掲）

（6）南消防署鞆出張所改築事業（※再掲）

まちづくりの目標

安全で快適な生活環境の整備

歴史・文化と地域生活の調和

活力ある地域社会の構築

まちづくりの方針

快適に暮らせる環境づくり
～地域生活環境の整備～

安心・安全なまちづくり
～地域防災の強化～

歴史・文化と調和したまちづくり
～歴史的文化遺産の保全・活用～

活力ある地域づくり
～産業振興・地域活性化～

交流と連携によるまちづくり
～交通・道路網の形成～

まちづくりに即した土地の活用
～土地利用の規制・誘導～

分野： 活力 柱立て： 都市ブランドの創出と発信

「福山らしさ」の創出（予算額：158,732千円） （うち、再掲分 138,924千円）

担当課： 企画総務局企画政策部ふくやま魅力発信課
教育委員会文化スポーツ振興部文化課
市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課

期 間	2007 年度（平成 19 年度）～
-----	--------------------

【目的（ねらい）】

多くの人を訪れ、全国に知られるまちになるよう、「食」や「歴史・文化」などの地域資源を掘り起こし、効果的な情報発信を行います。

【主な取組内容】

（1）地域の魅力を活かした福山ブランドの形成

福山ブランドの形成や効果的な発信方法の検討に取り組みます。

（2）福山らしさの発信

○食ブランド化の推進

「福山うずみごはん」が、市内外から愛される料理として定着するよう、プロモーション活動を支援します。

○島田荘司選 第6回ばらのまち福山ミステリー文学新人賞

地域文化とミステリー文学界の発展と知名度の向上のため、作品の募集、受賞作の出版を通じ情報発信を行います。

○福山の歴史・文化の啓発事業

次代を担う子どもたちが、福山の歴史に触れ、郷土への愛着や誇りを持てるよう、郷土の偉人などを描いたまんが「福山を知ローゼ」を作成し、小学校などに配布します。

第1作：阿部正弘 第2作：井伏鱒二

○100万本のばらのまちづくりの推進（※再掲）



【「福山うずみごはん」のプロモーション活動】



【島田荘司選
ばらのまち福山ミステリー文学新人賞
第5回受賞作発表記者会見】



【100万本のばらのまちづくりの推進】

分野： 活力

柱立て： 市民の自立と参画

協働のまちづくりの推進（予算額:22,625千円） （うち、再掲分 3,431千円）

担当課： 市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課 生涯学習課
企画総務局総務部危機管理防災課
経済環境局環境部環境啓発課 ほか

期 間	2005 年度（平成 17 年度）～	数 値 目 標	人材育成講座の創設 新規 8 講座
-----	--------------------	---------	-------------------

【目的（ねらい）】

市民一人ひとりが各地域で「まちづくりの主役」として、協力し合い、いきいきと活躍できるまちの実現に向けて、新たな人材育成に取り組みます。

【主な取組内容】

○まちづくりを担う人材育成の推進（※一部再掲）

- 市民が自らの力を、まちづくりに活かせるよう、安心・安全や環境、福祉など幅広い分野での人材育成講座を通じて、“持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワークを構築します。

（主な講座）

- ①防災大学：地域の防災や減災の対策を学びます。
- ②環境大学：家庭や地域で取り組む課題を学びます。
- ③ばら大学：地域において積極的なばらづくりを進めます。

- 学区（町）まちづくり推進委員会において、地域住民が自分たちの地域の課題や将来像（ビジョン）などをまとめた「地域まちづくり計画」の策定を支援します。



分野： 活力 柱立て： 効率的・効果的な行政運営の推進

公共施設サービスの再構築（予算額：15,000千円）

担当課： 財政局財政部資産経営戦略課

期 間 2011 年度（平成 23 年度）～

【目的（ねらい）】

人口減少社会の到来や厳しい財政状況，多様化するニーズに対応し，将来にわたって公共施設サービスを適切に提供し続けるため，公共施設全体のあり方について検討し，効率的・効果的な公共施設サービスの再構築に取り組みます。

【主な取組内容】

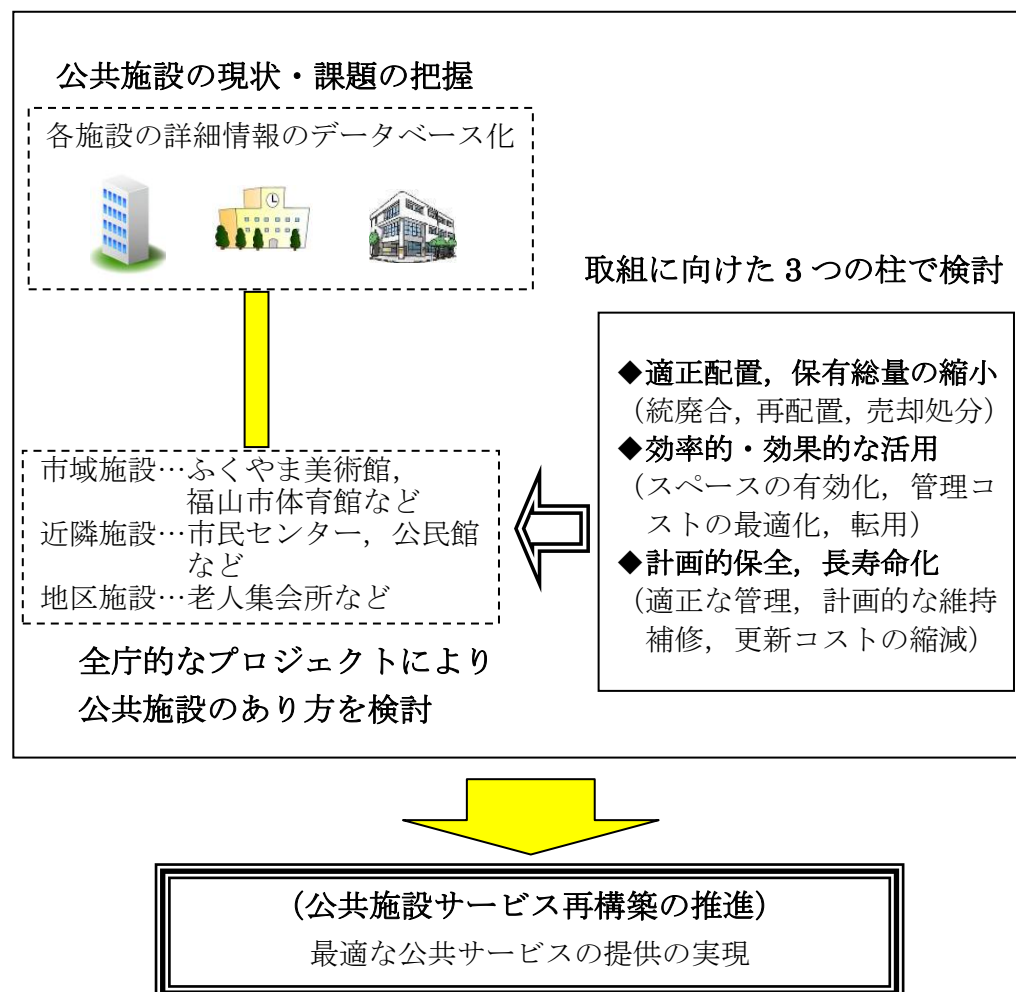
○公共施設情報の一元化

コスト・機能・利用状況などの評価分析を行うため，公共施設に関する情報のデータベース化を行います。

（データベース化するもの）

維持管理コスト，利用状況など

【具体的な推進のイメージ図】



分野： 活力

柱立て： 地域の活性化

産学官連携の推進（予算額:3,369千円）

担当課： 企画総務局企画政策部企画政策課

期間 2011年度（平成23年度）～

【目的（ねらい）】

産学官が経済，教育，福祉など幅広い分野で連携し，地場産業の活性化や地域社会に貢献できる人材育成等に取り組むことで地域社会の発展をめざします。

（※2012年度（平成24年度）重点政策「大学連携」から施策名を変更しています）

【主な取組内容】

（1）市立大学との連携事業の実施

地域課題の解決に向け，次の6つについて共同で調査・研究に取り組みます。

- ・「福山駅周辺の市街地における活性化」
- ・「災害に強い都市づくり」
- ・「協働のまちづくり（包括的協働プランニング）」
- ・「福山市の保幼小連携に関する研究」
- ・「福山市における子どもの生活実態調査」
- ・「発達障がい児の事例検討を通じた研修」

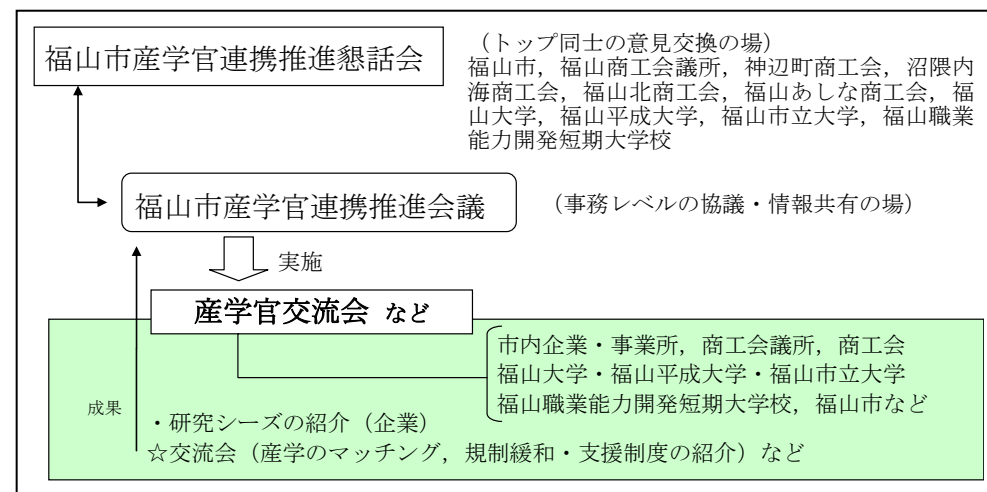
（2）産学官連携の推進

○福山市産学官連携推進懇話会の開催

産業界・大学・行政の代表者による意見交換の場（年2回程度）

○福山市産学官連携推進会議の開催

産業界・大学・行政の事務担当者による情報共有等の場（随時開催）



【産学官連携推進懇話会の開催に向けた事務担当者会議】

分野： 活力 柱立て： 地域の活性化

新 スマートIC(インターチェンジ)の整備 (予算額:30,000千円) 担当課： 建設局土木部幹線道路推進室

期 間 2012年度(平成24年度)～2017年度(平成29年度)

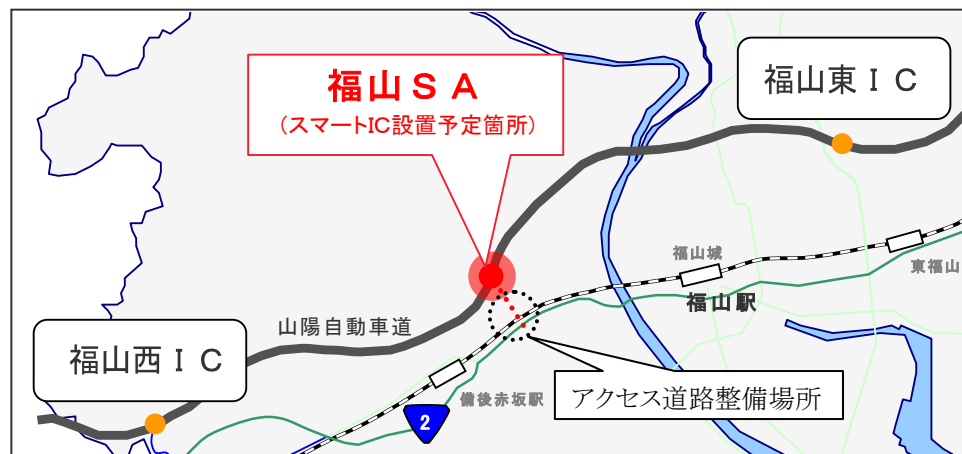
【目的(ねらい)】

福山東ICと福山西ICの中間に位置する福山SA(サービスエリア)にスマートIC*を整備することにより、山陽自動車道から中心市街地や主要観光施設などへのアクセス性を高めます。また、慢性的な交通渋滞が発生している福山東IC周辺における交通の分散に努めます。

※スマートIC…ETCを搭載した車両専用のインターチェンジ

【主な取組内容】

- ・スマートICの設置のため、国土交通大臣に高速道路連結申請書を提出します。
- ・スマートICと国道2号を円滑に結ぶアクセス道路を確保するため、市道整備に向けた設計などを行います。



【他都市の事例】

新 障がい者・高齢者の相談支援体制の充実（予算額：90,161千円） 担当課： 保健福祉局福祉部障がい福祉課
長寿社会応援部高齢者支援課

（成年後見制度の利用支援など）

期 間	2013 年度（平成 25 年度）～
-----	--------------------

【目的（ねらい）】

障がいのある人が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、相談支援体制を充実します。

また、虐待の早期発見・早期対応に取り組むとともに、高齢者などで判断能力が十分でない人の権利や財産を守るための支援を充実します。

【主な取組内容】

（1）障がい者相談支援体制の強化

- 中核となる相談支援事業所（基幹相談支援センター）の設置
- 障がい者の虐待防止の窓口設置

（2）成年後見制度の利用支援

成年後見制度が利用しやすくなるよう、権利擁護支援センターを設置し、制度利用に関する相談や市民後見人の養成などを行います。

【基幹相談支援センター】

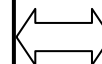
- 障がい者総合相談室・子ども発達相談室（クローバー）



- ・総合相談、専門相談
- ・相談機関との連携
- ・地域課題の協議・検討
- 障がい者虐待防止センター
 - ・虐待の通報、届出の受理
 - ・相談、指導や助言
 - ・虐待防止の周知・啓発

【権利擁護支援センター】

- ・専門相談の実施
- ・市民後見人の養成
- ・成年後見制度の利用支援
- ・障がい者や高齢者の困難事例への対応



成年後見制度

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由により物事を判断する能力が十分でない人の権利や財産を守るための制度です。

市民後見人

成年後見の知識を身に付け、後見活動を行う市民のことです。

設置場所は
福山すこやかセンター内です



分野： 福祉 柱立て： 社会参加に向けた自立支援

担当課： 保健福祉局福祉部生活福祉課

生活保護受給者の自立支援（予算額:14,815千円）

期 間	2012 年度（平成 24 年度）～	数 値 目 標	自立支援プログラムの選定件数※ 300 件 （※働く能力がある生活保護受給者への個別就労支援実施件数）
-----	--------------------	---------	--

【目的（ねらい）】

厳しい経済情勢の中，生活保護を受給する世帯は依然として多い状況にあります。

生活保護業務の適正実施に努めるとともに，働く能力がある生活保護受給者等の経済的自立の支援などに取り組みます。

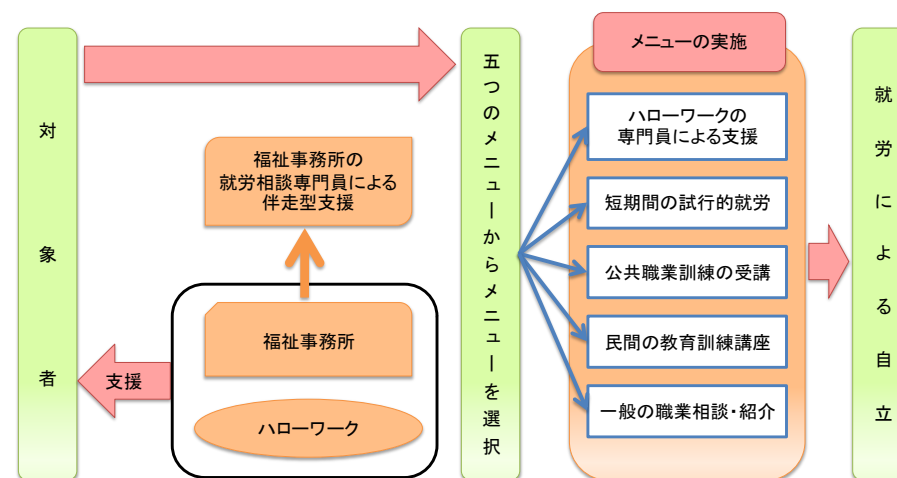
【主な取組内容】

（1）就労支援事業

失業などによる生活保護受給者の増加に対し，より細やかな支援を行うため，就労相談専門員を配置するとともに，ハローワークと連携して職業紹介や就職活動の支援など，就労による経済的自立に向けた取組を強化します。

（2）子どもの健全育成支援事業

家庭・教育支援員，家庭訪問員を配置し，中学校 2・3 年生を対象に高校進学に向けた支援を行うなど被保護世帯の子どもの健全育成に努めます。



福祉事務所とハローワークの連携による生活保護受給者の就労支援



【学習支援の様子（子どもの健全育成支援事業）】

分野： 安心・安全 柱立て： 地域医療体制の充実

病院施設の整備（予算額：771,000千円）

担当課：福山市民病院事務部経営企画課

期 間 2008年度（平成20年度）～2013年度（平成25年度）

【目的（ねらい）】

急性期医療とがん医療を中心に高度で良質な医療を提供する病院として、病棟の増床や外来化学療法室、内視鏡室などの病院施設整備に取り組み、地域における中核病院としての機能を充実します。

【主な取組内容】

（1）病院機能の充実

既存棟（本館1階～3階ほか）の改修工事を実施し、病院機能の充実に取り組みます。

- ・外来診察室の増設
- ・臨床検査部門（生理機能検査室、検体検査室）の拡充
- ・病理検査部門の拡充
- ・研修機能の充実（シミュレーション室、看護研修生控室の新設）

（2）立体駐車場の整備

駐車スペースを確保するため、立体駐車場を整備します。また、来院者の利便性の向上のため、エレベーターを設置します。

- ・駐車台数 約350台（うち、Ⅱ期工事分 約180台）

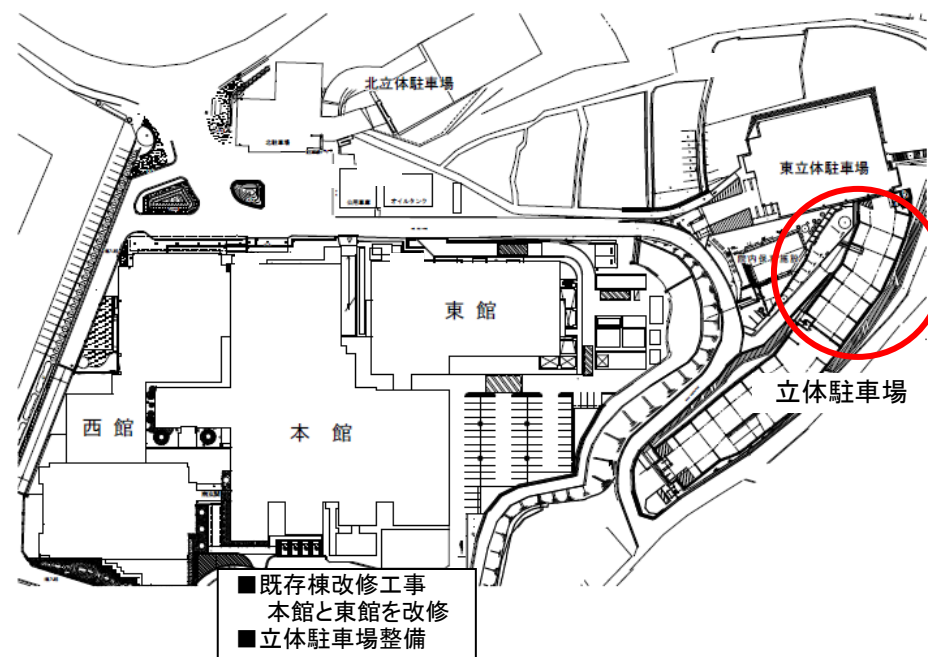


西館（増築棟）

本館

東館

【福山市民病院】



分野： 安心・安全 柱立て： 地域医療体制の充実

担当課： 保健福祉局保健部総務課

救急医療体制の確保（予算額：10,602千円）

期 間	2013年度（平成25年度）～2017年度（平成29年度）	数 値 目 標	小児二次救急夜間空白日の解消
-----	-------------------------------	---------	----------------

【目的（ねらい）】

小児救急担当医師の不足などにより、夜間に重症患者を受け入れる二次救急病院が決まっていない日（夜間空白日）が生じています。

岡山大学に寄付講座を開設し、医師の確保に取り組む中で、持続可能な小児救急医療体制を構築します。

【主な取組内容】

① ○広島県と連携し、岡山大学に小児救急を担う医師の育成や小児救急医療体制に関する調査研究を行う講座（寄付講座）を開設します。

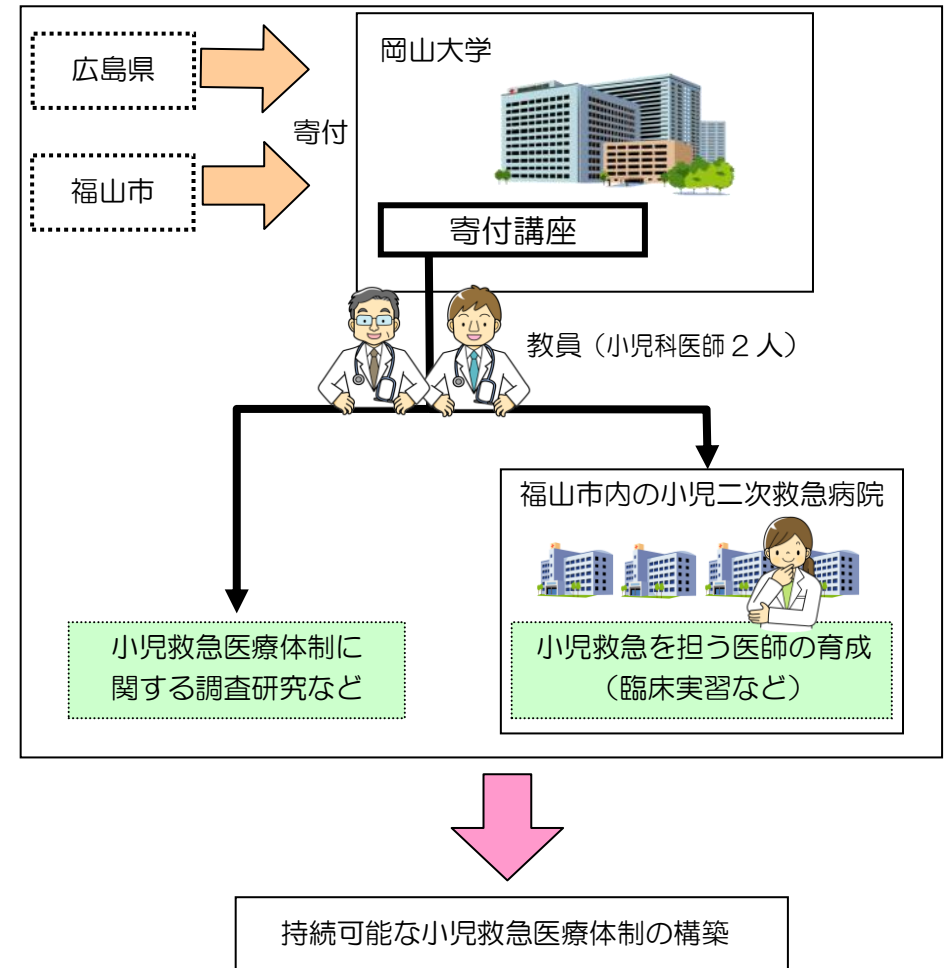
（期間等）

- ・2013年度（平成25年度）～2017年度（平成29年度）
- ・事業費を県（1/2）と市（1/2）で負担

○小児救急医療体制の現状と適正受診について、啓発に取り組みます。

- ・講演会の開催
- ・啓発リーフレットの配布

《 寄付講座のイメージ 》



分野： 安心・安全 柱立て： 消防・救急体制の充実

消防・救急体制の整備（予算額：1,394,554千円） （うち、緊急経済対策分 886,988千円）

担当課： 消防局総務部総務課

期 間 2005 年度（平成 17 年度）～

【目的（ねらい）】

複雑多様化する各種災害に適切に対応し、地域住民の安心・安全を確保するため、防災拠点としての機能を十分に発揮できるように北消防署と南消防署輜出張所の庁舎改築を行います。

また、消防救急無線について、より高い安全性と信頼性を確保するため消防救急デジタル無線への移行を行います。

【主な取組内容】

（1）北消防署の改築

中心市街地を管轄する防災拠点として、2013 年度（平成 25 年度）中の新庁舎での業務開始に向け、建設工事を行います。

事業期間：2011 年度（平成 23 年度）～2013 年度（平成 25 年度）

（2）南消防署輜出張所の改築

輜地区を中心とした市南部を管轄する防災拠点として、2014 年度（平成 26 年度）中の新庁舎での業務開始に向け、建設工事に着手します。

事業期間：2012 年度（平成 24 年度）～2014 年度（平成 26 年度）

（3）消防救急デジタル無線設備整備*

電波法の改正により、現在のアナログ方式（150MHz 帯）の消防救急無線を消防救急デジタル無線（260MHz 帯）に移行します。

※消防救急デジタル無線設備整備は、2012 年度（平成 24 年度）から 2013 年度（平成 25 年度）への繰越事業



【北消防署庁舎完成予想図】



【消防救急デジタル無線設備整備イメージ】

分野： 安心・安全 柱立て： 災害に強いまちづくり

水道施設の耐震化（予算額:365,014千円）

担当課： 上下水道局施設部施設整備課

期間 2007年度（平成19年度）～

【目的（ねらい）】

地震によって水道の機能が停止した場合、市民生活や社会経済活動に与える影響は甚大なものとなります。このため、災害発生時の被害を最小限に抑えるため、災害に強い施設整備に取り組みます。

【主な取組内容】

（1）取水施設の耐震補強

中津原浄水場の取水施設（取水路*）の耐震補強工事を行います。

- ・延長 150m

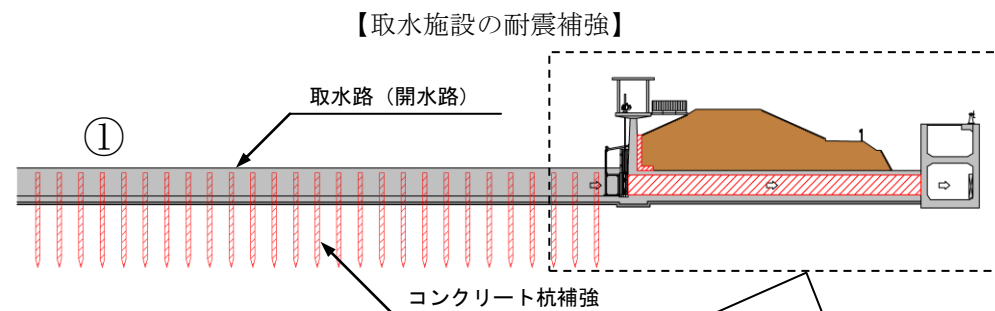
開水路 120m	：背面に杭を打ち補強します
暗渠 30m	：鋼管を挿入して補強します

※取水路・・・河川から取水する水路

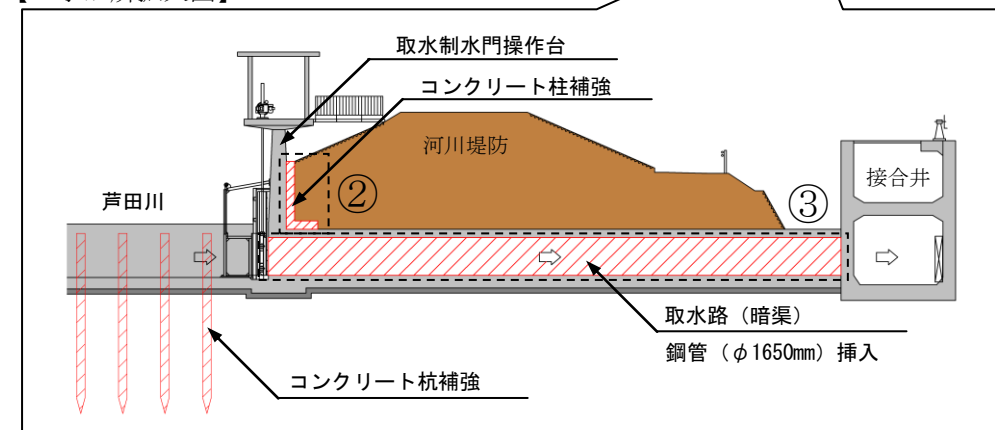
（2）水質管理センター棟の改築

2013年度（平成25年度）から2か年で、老朽化した中津原浄水場の水質管理センター棟の改築を行います。

- ・RC造5階建（延床面積約2,600㎡）



【工事か所拡大図】



【工事内容】

- ① …取水路（開水路）の背面に杭を打設し、取水路と杭を一体化して補強します。
- ② …取水制水門操作台のコンクリート柱を補強します。
- ③ …取水路（暗渠）の中に鋼管を挿入して補強します。

分野： 安心・安全 柱立て： 災害に強いまちづくり

下水道施設の耐震化（予算額：250,000千円） （うち、緊急経済対策分 250,000千円）

担当課： 上下水道局工務部下水道施設課

期 間	2009 年度（平成 21 年度）～2013 年度（平成 25 年度）
-----	-------------------------------------

【目的（ねらい）】

地震によって下水道の機能が停止した場合に、市民生活や社会経済活動に与える影響を最小限に抑えるため、防災拠点（市役所本庁舎）や広域避難場所（東桜町緑地、福山城公園、中央公園、緑町公園、竹ヶ端運動公園、駅家公園）から流域下水道幹線までの下水道施設の耐震化などに取り組みます。

【主な取組内容】

（１）下水道管渠の耐震化

管渠の接続部の離脱やマンホールからの抜け出しを防止する工事を行います。

・延長 584m

（２）マンホールの耐震化

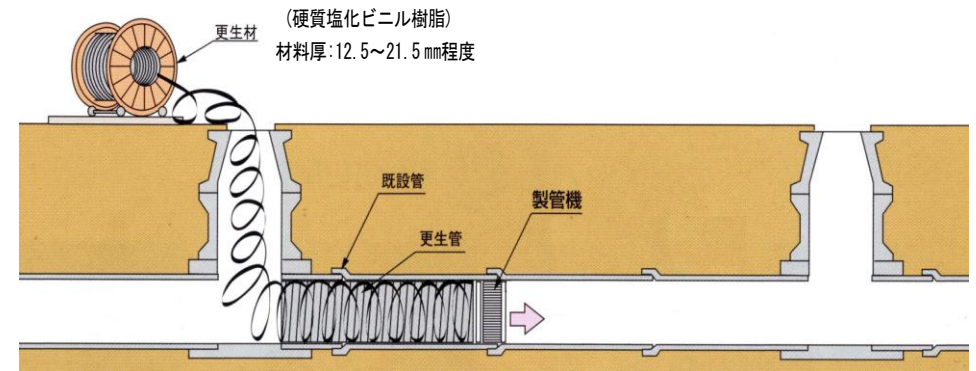
液状化によるマンホールの道路面からの浮き上がりを防止する工事を行います。

・延長 499m

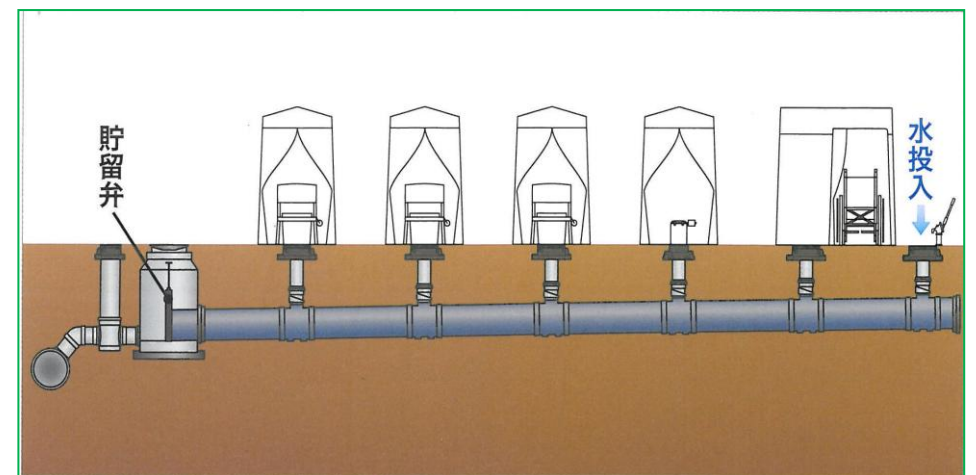
（３）マンホールトイレ（災害時仮設トイレ）の整備

災害時に広域避難場所（緑町公園）でマンホールトイレが使用できるよう整備します。

・整備数 20基



【管渠の接続部が離脱することを防止する工事のイメージ】
（既設管渠の中に、地震に強い管を新しく造る）



【マンホールトイレのイメージ】

分野： 安心・安全 柱立て： 災害に強いまちづくり

学校施設の耐震化（予算額：1,356,300千円）

（うち、緊急経済対策分 1,256,300千円）

担当課：教育委員会管理部施設課
福山中学校・高等学校

期 間 2006 年度（平成 18 年度）～

【目的（ねらい）】

児童生徒が安心して安全に学べるとともに、災害発生時の地域住民の応急避難場所としての役割が果たせるよう、学校施設の耐震化を推進します。

（※この施策は、2012 年度（平成 24 年度）重点政策「小・中学校の耐震補強等整備事業」から施策名を変更しています。）

【主な取組内容】

（1）屋内運動場整備

○小学校屋内運動場整備

改修工事 10 校（神村小，本郷小，長浜小，駅家東小，西深津小，野々浜小，幕山小，久松台小，山手小，日吉台小）

改修設計 14^{*} 校（※10 校は緊急経済対策分以外で 2012 年度（平成 24 年度）に予算化）

○中学校屋内運動場整備（改修設計 4 校）

○福山中学校・高等学校屋内運動場整備（改修設計）

（2）校舎改修

○小学校校舎改修

改修工事 9 棟（旭小北棟（東），蔵王小校舎棟（西），御幸小北棟（西）（東），坪生小北棟，松永小北棟，柳津小南棟，曙小南棟，駅家小北棟）

改修設計 17 棟

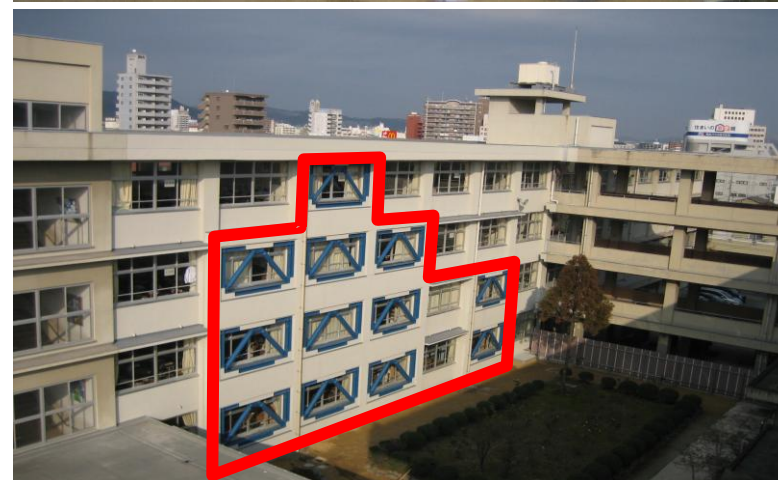
○中学校校舎改修

改修工事 2 棟（培遠中南棟，中央中南棟）

改修設計 5 棟

○福山中学校・高等学校校舎改修（改修設計 1 棟）

緊急経済対策分・・・小学校屋内運動場改修工事（10 校），小・中学校の校舎改修工事（11 棟）と小・中学校の校舎改修設計の一部



【校舎耐震補強工事（上：曙小学校，下：城南中学校）】

分野： 安心・安全 柱立て： 安心・安全な給水の確保

出原浄水場の更新（予算額:1,189,189千円）

担当課：上下水道局工務部配水管整備課
施設部施設整備課

期 間 2010年度（平成22年度）～2015年度（平成27年度）

【目的（ねらい）】

1959年（昭和34年）の給水開始以来50年が経過し、浄水場全体の老朽化が著しいこと、水源である地下水にマンガンが多く含まれることなどから、6か年計画で施設を更新します。

浄水処理方式を緩速ろ過方式から急速ろ過方式（除マンガン接触ろ過方式）に変更するとともに、施設の耐震化と洪水対策を行い、安心・安全な給水を確保します。

【主な取組内容】

（1）急速ろ過池機械設備の設置（2012年度（平成24年度）～）

急速ろ過池の機械・電気設備の設置工事を行います。

（2）導水管の布設及び布設替（2012年度（平成24年度）～）

導水管※1（口径300mm～500mm）の布設や布設替工事を行います。

（3）送水管の布設（2012年度（平成24年度）～）

送水管※2（口径700mm）の布設工事を行います。

（4）送水ポンプの設置（2012年度（平成24年度）～）

送水ポンプ（6.7 m³/分 揚程※350m 出力90kW）4台の設置工事を行います。

- ※1 導水管・・・河川・井戸から取水した水を浄水場内へ導く管
- ※2 送水管・・・浄水場から配水池へ水を送る管
- ※3 揚 程・・・ポンプの水をあげる高さ



【完成予想図】



【導水管布設、布設替工事の施工状況】

分野： 安心・安全 柱立て： 市民の安全対策

歩道・自転車走行空間の整備（予算額:380,000千円） （うち、緊急経済対策分 108,000千円 再掲分 100,000千円）

担当課：建設局土木部道路整備課
教育委員会学校教育課学校保健課

期 間	2002 年度（平成 14 年度）～2020 年度（平成 32 年度）
-----	-------------------------------------

【目的（ねらい）】

子どもや高齢者，障がいのある人などに配慮した安全性が高い歩道の整備を計画的に行い，快適な歩行空間の確保に努めます。また，福山駅を中心とした半径約 5k m の範囲を自転車と歩行者双方が安心・安全に通行できるよう整備します。

【主な取組内容】

（1）歩道整備

歩道のバリアフリー化に取り組みます。

- ・東福山地区（手城三吉線，停車場裏古地線，停車場宅部線）
- ・福山駅周辺地区（草戸松浜線，しとみやま 部山堂脇線）
- ・津之郷奈良津線

（2）通学路の安全対策

通学時における児童生徒の安全確保のため，区画線による歩行空間の確保やカーブミラーの設置など通学路の整備に取り組みます。

- ・通学路整備 48 箇所

（3）福山都市圏自転車走行空間整備事業（※再掲）

- ・福山駅手城線 ・北吉津曙線 ・伏見旭町 1 号線 ・地吹大渡線



【区画線整備】



【自転車走行空間整備】

分野： 安心・安全 柱立て： 市民の安全対策

交通施設バリアフリー設備の整備（予算額：150,000千円） （うち、緊急経済対策分 150,000千円）

担当課：建設局都市部都市交通課

期 間	2005 年度（平成 17 年度）～平成 20 年代半ば
-----	------------------------------

【目的（ねらい）】

高齢者や障がいのある人などすべての鉄道利用者がより円滑に駅を利用することができるよう、駅舎などのバリアフリー化を推進します。

【主な取組内容】

○交通施設バリアフリー設備整備事業

J R 東福山駅に、南北それぞれ歩道から橋上駅の自由通路を結ぶエレベーターを設置します。



【東福山駅（南口）エレベーター設置イメージ】

⇒本文は、P16 に掲載

分野： 安心・安全 柱立て： 市民の安全対策

LED防犯灯の整備（予算額：44,000千円）（※再掲）

担当課：建設局土木部土木管理課

期 間	2011 年度（平成 23 年度）～2013 年度（平成 25 年度）	数 値 目 標	2013 年度（平成 25 年度）末までに約 32,000 灯を交換
-----	-------------------------------------	---------	------------------------------------